

平成23年3月期 第3四半期決算概況について

名 称 農林中央金庫

(URL <http://www.nochubank.or.jp/>)

代 表 者 (役職名) 代表理事理事長 河野良雄

問合せ先責任者 (役職名) 企画管理部長 佐藤典嗣

(百万円未満切捨て)

平成23年3月期 第3四半期の個別業績 (平成22年4月1日～平成22年12月31日)

1 個別経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	867,957	16.3	184,713	39.3	187,126	213.1
22年3月期第3四半期	1,036,872	17.2	132,605	-	59,759	-

2 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率 (注1)
	百万円	百万円	%
23年3月期第3四半期	71,045,094	4,222,519	5.9
22年3月期	68,470,391	3,931,677	5.7

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 4,222,519 百万円 22年3月期 3,931,677 百万円

(注1) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

(注2) 「単体自己資本比率(国際統一基準)」は、平成23年2月下旬に別途開示する予定であります。

3 その他 (詳細は、P.2「定性的情報・財務諸表等」2「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理および特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理および四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 無

以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成にかかる会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算概況は金庫単体での開示であります。この開示時点において、当年度より任意に実施している当第3四半期の四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

定性的情報・財務諸表等

1 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における損益につきましては、厳しい市場環境が続く中、資金収支を着実に確保した結果、資金利益は、前年同期比287億円増加の1,470億円となりました。

与信関連費用では、経済環境の落ち着きを反映して引当金が戻入となり、325億円の収益計上となりました。

有価証券関連損益は、有価証券売却損益等が前年同期比1,426億円減少の89億円の売却損等を計上し、有価証券の価格下落等による償却・引当金が、前年同期比283億円減少の422億円の費用を計上することとなりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比521億円増益の1,847億円、四半期純利益は前年同期比1,273億円増益の1,871億円となりました。また、業務純益は503億円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の農林中央金庫単体の総資産は、前年度末に比べて2兆5,747億円増加の71兆450億円となりました。純資産の部は、前年度末比2,908億円増加の4兆2,225億円となりました。

主要な勘定残高につきましては、資産の部では貸出金が前年度末比6,897億円増加の13兆7,278億円、有価証券が前年度末比6,745億円増加の44兆6,882億円となりました。負債の部では預金が前年度末比1兆4,245億円増加の40兆5,332億円となり、農林債が前年度末比1,463億円減少の5兆4,654億円となりました。

2 その他の情報

(1) 簡便な会計処理および四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、年度にかかる減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

貸倒引当金の計上方法

「破綻先」、「実質破綻先」にかかる債権等および「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、平成22年9月期の予想損失率を適用して計上しております。

税金費用の計算

法人税等につきましては、年度決算と同様の方法により計算しておりますが、納付税額の算出にかかる加減算項目および税額控除項目は、重要性の高い項目に限定して適用しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について半期会計期間末から大幅な変動がないと認められるため、当該半期会計期間末の検討において使用した将来の業績予測およびタックス・プランニングの結果を適用しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成にかかる会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

3 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期末 (平成22年12月31日)	前年度末にかかる 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
(資産の部)		
貸出金	13,727,862	13,038,081
外国為替	44,292	12,925
有価証券	44,688,221	44,013,720
金銭の信託	8,253,928	6,555,624
特定取引資産	26,454	13,054
買入金銭債権	318,845	490,182
コールローン	1,476,429	1,336,137
買現先勘定	47,552	-
債券貸借取引支払保証金	537,261	-
現金預け金	855,710	2,180,393
その他資産	671,246	381,057
有形固定資産	126,089	141,131
無形固定資産	52,080	53,191
繰延税金資産	161,007	202,355
支払承諾見返	322,884	354,512
貸倒引当金	255,777	295,778
投資損失引当金	8,995	6,199
資産の部合計	71,045,094	68,470,391
(負債の部)		
預金	40,533,287	39,108,744
譲渡性預金	613,211	702,799
農林債	5,465,437	5,611,743
特定取引負債	12,908	12,576
借入金	1,745,989	2,284,402
コールマネー	439,782	948,151
売現先勘定	9,790,073	9,667,031
債券貸借取引受入担保金	545,197	98,543
外国為替	24	1
受託金	5,378,248	4,277,171
その他負債	1,955,237	1,449,309
賞与引当金	1,821	3,621
退職給付引当金	1,955	899
役員退職慰労引当金	704	764
再評価に係る繰延税金負債	15,810	18,439
支払承諾	322,884	354,512
負債の部合計	66,822,574	64,538,714
(純資産の部)		
資本金	3,425,909	3,425,909
資本剰余金	25,020	25,020
利益剰余金	1,011,437	818,500
会員勘定合計	4,462,367	4,269,430
その他有価証券評価差額金	309,936	406,661
繰延ヘッジ損益	43,930	36,940
土地再評価差額金	26,158	31,968
評価・換算差額等合計	239,847	337,752
純資産の部合計	4,222,519	3,931,677
負債及び純資産の部合計	71,045,094	68,470,391

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
経常収益	1,036,872	867,957
資金運用収益	575,166	532,088
(うち貸出金利息)	74,472	65,192
(うち有価証券利息配当金)	465,191	452,576
役務取引等収益	9,223	11,103
特定取引収益	84	125
その他業務収益	213,028	127,793
その他経常収益	239,369	196,846
経常費用	904,266	683,243
資金調達費用	506,007	423,002
(うち預金利息)	92,573	42,040
役務取引等費用	8,635	7,875
特定取引費用	719	129
その他業務費用	113,814	151,956
事業管理費	81,992	75,768
その他経常費用	193,096	24,512
経常利益	132,605	184,713
特別利益	1,543	36,301
特別損失	2,045	7,560
税引前四半期純利益	132,103	213,454
法人税、住民税及び事業税	31,051	31,549
法人税等調整額	41,292	5,221
法人税等合計	72,343	26,327
四半期純利益	59,759	187,126